

Content Delivery Network

クイックスタート

製品ドキュメント



Tencent Cloud

Copyright Notice

©2013-2024 Tencent Cloud. All rights reserved.

Copyright in this document is exclusively owned by Tencent Cloud. You must not reproduce, modify, copy or distribute in any way, in whole or in part, the contents of this document without Tencent Cloud's the prior written consent.

Trademark Notice



All trademarks associated with Tencent Cloud and its services are owned by Tencent Cloud Computing (Beijing) Company Limited and its affiliated companies. Trademarks of third parties referred to in this document are owned by their respective proprietors.

Service Statement

This document is intended to provide users with general information about Tencent Cloud's products and services only and does not form part of Tencent Cloud's terms and conditions. Tencent Cloud's products or services are subject to change. Specific products and services and the standards applicable to them are exclusively provided for in Tencent Cloud's applicable terms and conditions.

カタログ：

クイックスタート

ゼロから始めるCDNの設定

ドメイン名のアクセス

CNAMEの設定

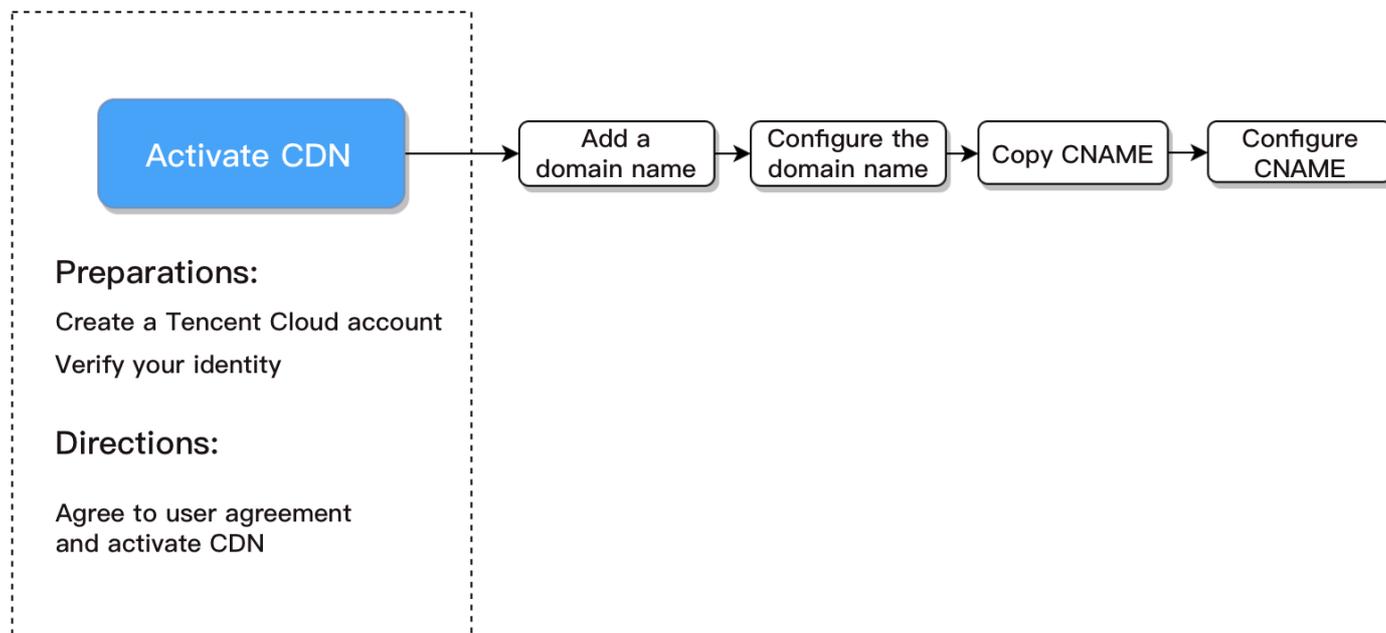
ドメイン名所有権の検証

ドメイン名アクセスに関するよくあるご質問

クイックスタート

ゼロから始めるCDNの設定

最終更新日： : 2021-11-24 14:51:39



準備作業

Tencent Cloudアカウントの登録

Tencent Cloudのアカウント登録が済んでいる場合は、このステップを無視してかまいません。

[ここをクリックしてTencent Cloudアカウントを登録します](#)

実名認証

CDNコンソールから実名認証を行うことができます。実名認証の詳細については、[実名認証ガイド](#)をご参照ください。

操作手順

CDNサービスのアクティブ化

Tencent Cloud CDNは、**中国本土と中国本土以外**という2つのサービスエリアをサポートしています。現在、**1時間単位のトラフィック課金**方式のみが提供されています。課金ルールの詳細については、[課金説明](#)をご参照ください。

サービス条項にチェックを入れて同意した後、**CDNのアクティブ化**をクリックすると、アクティブ化が完了し、CDNサービスの使用を開始できます。

注意：

ECDNは、Tencent Cloudが動的なビジネスアクセラレーションシナリオ向けに最適化した製品です。ECDN製品は、CDNコンソールで直接使用することができます。ECDNの詳細については、[製品概要](#)をご参照ください。

後続作業

ドメイン名へのアクセス

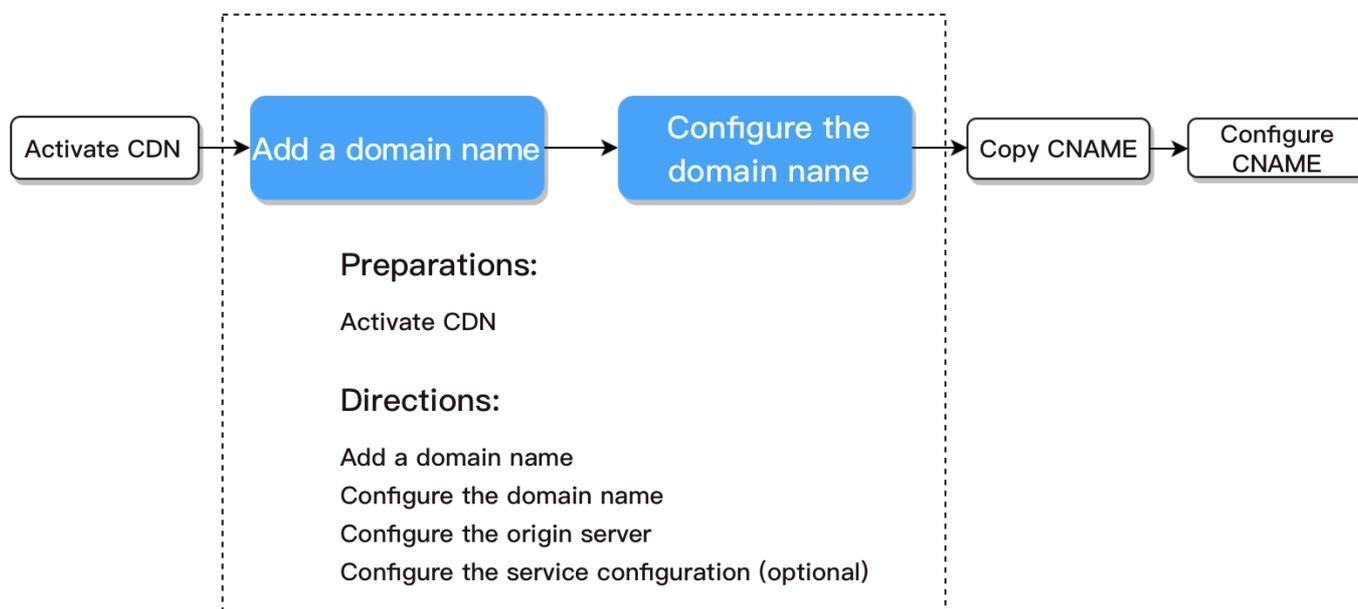
CDNサービスをアクティブにした後、アクセラレーションサービスのドメイン名をTencent Cloud CDNに接続する必要があります。ユーザーはドメイン名にアクセスして、アクセラレーション効果を得ることができます。詳細については、[ドメイン名へのアクセス](#)をご参照ください。

CNAMEの設定

お客様のドメイン名がCDNに接続された後、さらにドメイン名サービスプロバイダ側でCNAMEの設定を完了させる必要があります。設定が有効になると、CDNアクセラレーションサービスをご利用いただけるようになります。詳細については、[CNAMEの設定](#)をご参照ください。

ドメイン名のアクセス

最終更新日：：2021-11-24 14:51:40



準備作業

CDNサービスのアクティブ化

CDNを設定する前に、[CDNサービスのアクティブ化](#)を行う必要があります。CDNサービスがすでにアクティブ化されている場合は、続いて次の操作手順に進んでください。

混同しやすい概念：

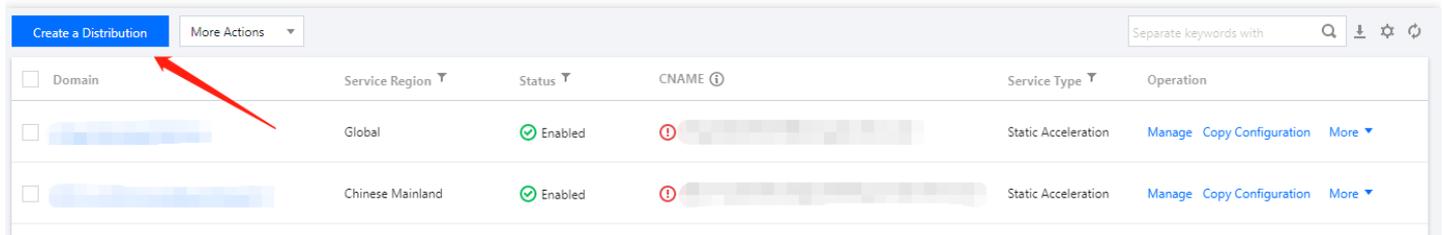
設定名	設定の説明	使用する場所
アクセラレーションドメイン名	お客様がCDNに接続するドメイン名で、ユーザーが端末で実際にアクセスするドメイン名です	ドメイン名の追加-ドメイン名の設定

設定名	設定の説明	使用する場所
オリジンサーバーアドレス/オリジンサーバードメイン名	<p>サーバーのオリジンサーバーに対応するIPアドレス（ドメイン名）です。CDNノードにリクエストされたコンテンツが含まれない場合、このアドレス（ドメイン名）にアクセスしてリクエストされたコンテンツを取得します</p> <p>オリジンサーバー：はサービスを提供するサーバーで、ユーザーのリクエストの処理、応答ができます。ユーザーは、オリジンサーバーアドレスを介してアクセスします。オリジンサーバーアドレスはドメイン名またはIPアドレスで構いません</p>	ドメイン名の追加-オリジンサーバーの設定
back-to-origin HOST	CDNノードのback-to-originのときに実際にリクエストされたサーバーコンテンツです。通常、アクセラレーションドメイン名と同じであり、お客様はビジネスニーズに応じて、back-to-originのときに実際にリクエストされたコンテンツを入力することができます。	ドメイン名の追加-オリジンサーバーの設定
CNAMEドメイン名	<p>お客様のアクセラレーションドメイン名を接続すると、システムは自動的にCNAMEドメイン名に拡張子 <code>.cdn.dnsv1.com</code> または <code>.dsa.dnsv1.com</code> を割り当てます。</p> <p>お客様のアクセラレーションドメイン名をCNAMEドメイン名にマッピングすると、Tencent CloudはCNAMEが指すIPアドレスを動的に変更し、すべてのアクセラレーションドメイン名を更新するので、各アクセラレーションドメイン名が指すIPアドレスを手動で変更する必要はありません。</p>	CNAMEの設定

- **アクセラレーションドメイン名**：ユーザーは「`cdntest.com`」を介してアクセスします。「`cdntest.com`」はアクセラレーションドメイン名です。
- **CNAMEドメイン名**：アクセラレーションドメイン名を接続すると、システムは自動的に拡張子が `.cdn.dnsv1.com` または `.dsa.dnsv1.com` のCNAMEドメイン名を割り当てます。`cdntest.com.cdn.dnsv1.com / cdntest.com.dsa.dnsv1.com` などです。
- **オリジンサーバーアドレス**：CDNノードが、ユーザーがリクエストしたコンテンツをキャッシュしない場合、CDNノードは1.1.1.1からのコンテンツをリクエストします。1.1.1.1とはオリジンサーバーアドレスです。
- **back-to-origin HOST**：CDNノードが1.1.1.1をリクエストしたときに、実際にリクエストされたアドレスが、エンドユーザーがリクエストした「`cdntest.com`」とは異なる「`originhost.com`」にしたい場合は、back-to-origin HOSTを「`originhost.com`」に設定します。この場合、エンドユーザーが「`cdntest.com`」を介してback-to-originを行うときに、「`originhost.com`」のコンテンツにアクセスします。通常、アクセラレーションドメイン名とback-to-origin HOSTドメイン名は同じですが、ビジネスニーズに応じて調整することができます。

操作手順

CDNコンソールに入り、左側ナビゲーションバーで**ドメイン名管理**を見つけて、**ドメイン名の追加**をクリックします。



<input type="checkbox"/>	Domain	Service Region	Status	CNAME	Service Type	Operation
<input type="checkbox"/>	[Redacted]	Global	Enabled	[Redacted]	Static Acceleration	Manage Copy Configuration More
<input type="checkbox"/>	[Redacted]	Chinese Mainland	Enabled	[Redacted]	Static Acceleration	Manage Copy Configuration More

ドメイン名の追加ページに進んだ後、ドメイン名の接続を完了するには、次の3つの部分を設定する必要があります。

- [ドメイン名設定](#)
- [オリジンサーバー設定](#)
- [サービス設定 \(オプション\)](#)

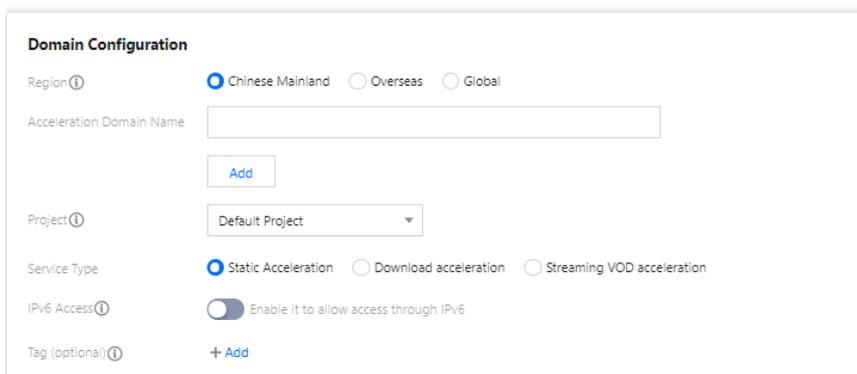
ドメイン名の設定

1. アクセラレーションリージョンの選択
2. アクセラレーションドメイン名の入力

接続するドメイン名が次のような状況にある場合は、ドメイン名所有権の検証が必要です。検証手順については、以下の[ドメイン名所有権検証](#)をご参照ください。

- このドメイン名を初めて接続する。
- このドメイン名が他のユーザーによって接続されている。
- 接続するドメイン名が汎用ドメイン名である。

3. アクセラレーションタイプの選択
4. その他のオプション項目 (後でドメイン名管理で変更できます)



Domain Configuration

Region Chinese Mainland Overseas Global

Acceleration Domain Name

Project

Service Type Static Acceleration Download acceleration Streaming VOD acceleration

IPv6 Access Enable it to allow access through IPv6

Tag (optional)

設定項目の詳細説明

設定項目	説明
アクセラレーション	<p>中国本土：グローバルユーザーからのアクセスは、中国本土のアクセラレーションノードにスケジューリングされてサービスを提供します。</p> <p>中国本土以外（中国香港・マカオ・台湾地区を含む）：グローバルユーザーからのアクセスは、中国本土以外のアクセラレーションノードにスケジューリングされてサービスを提供します。</p> <p>グローバル：グローバルユーザーからのアクセスは、最も近いノードにスケジューリングされてサービスを行います。</p> <p>注意事項： 中国本土と中国本土以外のアクセラレーションサービスへの課金状況は異なります。[課金説明] (https://intl.cloud.tencent.com/document/product/228/2949) をご参照ください。</p>
アクセラレーションドメイン名	<ol style="list-style-type: none"> ドメイン名の長さは81文字以内です。 中国本土のドメイン名は工信部にてICP登録済みのものとします。 ドメイン名 <code>a.test.com</code>、<code>a.b.test.com</code> などの形式のサブドメイン名または <code>*.test.com</code>、<code>*.a.test.com</code> 形式の汎用ドメイン名とします。 アクセスするドメイン名が汎用ドメイン名である場合、または他のユーザーによってアクセスされている場合、または新しいドメイン名を初めてアクセスする場合は、ドメイン名所有検証を行う必要があります。 <p>注意事項：</p> <ol style="list-style-type: none"> 汎用ドメイン名にアクセスした後、そのサブドメイン名または第2レベル汎用ドメイン名については、他のアカウントでのアクセスは現在サポートされていません。 <code>*.test.com</code> と <code>*.a.test.com</code> の同時アクセスは、現在サポートされていません。 <ul style="list-style-type: none"> 中国本土の中国語ドメイン名はまず中国語の形式で関連の登録を行う必要があります。 「中国語.ドメイン名」などの中国語ドメイン名は、サードパーティのツールで「xn--fiq228c.xn--eqrt2g」に変換した後、アクセスすることができます。 「test_qq.tencent.cloud」などのアンダーバーを含むドメイン名は、ホワイトリストへの登録が完了した後、直接追加することができます。 ドメイン名が悪意のあるドメイン名やハイリスクのドメイン名である場合は、アクセスできません。詳細については、使用制限をご参照ください。

設定項目	説明
アクセラレーションタイプ	<p>Tencent Cloud CDNは、さまざまな業務タイプに応じてターゲットを絞ったアクセラレーションパフォーマンスの最適化を行いました。より良いアクセラレーション効果を得るために、ご自身の業務により近い業務タイプを選択することをお勧めします。</p> <p>CDN Content Delivery Network</p> <p>静的アクセラレーション：eコマース系、Webサイト系、ゲーム画像系といった小さなリソースアクセラレーションシナリオに適しています。</p> <p>ダウンロードアクセラレーション：ゲームのインストールパッケージ、オーディオビデオソースファイルのダウンロード、携帯電話のファームウェアの配布といったシナリオのダウンロードに適しています。</p> <p>ストリーミングメディアのオンデマンドアクセラレーション：eラーニング、オンライン動画オンデマンドなどのシナリオに適しています。</p> <p>** Enterprise Content Delivery Network(ECDN)</p> <p>動的・静的アクセラレーション：さまざまなWebサイトのホームページなど、動的・静的データが組み合わされているビジネスシナリオに適しています。</p> <p>動的アクセラレーション：アカウントログイン、注文取り引き、API呼び出し、リアルタイム照会などのシナリオに適しています。</p> <p>注意事項：**</p> <p>アクセラレーションの種類によって課金基準が異なります。CDN課金の詳細とECDN課金の詳細をご参照ください。</p>
IPv6アクセス	<p>IPv6アクセススイッチはデフォルトで無効になっています。有効にすると、IPv6プロトコル経由でCDNノードにアクセスできるようになります。</p> <p>注意事項：</p> <ul style="list-style-type: none"> 一部のプラットフォームはアップグレード中であり、当面、IPv6アクセスの有効化はサポートしません。フルリリースまでしばらくお待ちください。 中国本土でのみIPv6アクセスをサポートしています。 <p>ドメイン名のアクセラレーションリージョンがグローバルである場合は、IPv6アクセススイッチを有効にした後、中国本土でのみ有効になります。</p>
所属プロジェクト	<p>プロジェクトは、Tencent Cloudのすべてのクラウドサービスの共有リソースセットの概念です。プロジェクト管理ページでプロジェクト関連の操作を実行できます。</p>
タグ	<p>タグキーとタグ値は入力必須項目です。タグを作成していない場合は、タグ管理でタグ関連の操作を実行できます。</p>

オリジンサーバーの設定

1. オリジンサーバータイプの選択
2. back-to-originプロトコルの選択

3. オリジンサーバーアドレスの入力

4. back-to-origin HOSTの設定

Origin Configuration

Origin Type External COS Origin

Origin-pull Protocol HTTP HTTPS Follow Protocol

Origin Address

Enter multiple origin IPs (one entry per line) or one origin domain name
Port (0-65535) and weight (1-100) settings can be added to configurations. Supported format: Origin Server:Port:Weight and Origin Server:Weight
If HTTPS origin-pull is selected, the port must be 443, or you can leave it empty.
Enter up to 511 characters

Origin Domain

設定項目の詳細説明：

設定項目	説明
オリジンサーバータイプ	<p>ユーザー保有オリジンサーバー： すでに安定して稼働しているビジネスサーバー（つまり、オリジンサーバー）のシナリオがあります。</p> <p>COSオリジンサーバー： Tencent Cloud COSサービスを使用すると、対応するbucketを直接選択できます。</p> <p>サードパーティCOS： Tencent Cloud以外のサードパーティCOSです。現在サポートされているサードパーティは、AWS S3とAlibaba Cloud OSSです。</p> <p>注意事項： 一部のプラットフォームは当面、サードパーティのCOSをサポートしません。フルリリースまでしばらくお待ちください。</p>

設定項目	説明
オリジンサーバーアドレス	<p>ユーザー保有オリジンサーバー：</p> <ol style="list-style-type: none"> 複数のIPをオリジンサーバーとして設定することをサポートし、back-to-originのときにポーリングback-to-originを実行します。 設定ポート(0~65535)と重み(1~100)の追加をサポートします。 参照形式： <code>オリジンサーバー:ポート:重み</code> (ポートはデフォルト設定可能：<code>オリジンサーバー::重み</code>) <p>注： HTTPSプロトコルのみポート443を一時的にサポートします。</p> <ol style="list-style-type: none"> オリジンサーバーとしてドメイン名の設定をサポートします。このドメイン名は、CDNアクセラレーションドメイン名と同じにすることはできないのでご注意ください。 注： オリジンサーバーのアドレスがすでにアクセスされたCDNアクセラレーションドメイン名である場合、解決がループされ、back-to-originが正常にできなくなります。 <p>COSオリジンサーバー：</p> <ol style="list-style-type: none"> Tencent Cloud COSのうち1つのバケットをオリジンサーバーとして選択します。 バケットの設定と実際のビジネスシナリオに応じて、デフォルトのドメイン名または静的ウェブサイトタイプを選択します。 バケットがプライベートバケットの場合は、CDNを承認し、back-to-originの認証を有効にして、プライベートバケットへのアクセスを有効にしてください。 <p>サードパーティCOS：</p> <ol style="list-style-type: none"> リソースがサードパーティのCOSに保存されている場合は、オリジンサーバーとして有効なバケットアクセスアドレスを入力してください。現在サポートされているサードパーティは、AWS S3およびAlibaba Cloud OSSです。 注： プロトコルヘッダー <code>http://</code> または <code>https://</code> プロトコルヘッダー、<code>my-bucket.oss-cn-beijing.aliyuncs.com</code> または <code>my-bucket.s3.ap-east-1.amazonaws.com</code> を含めることはできません。 サードパーティのプライベートバケットにback-to-originするには、有効なキーを入力し、back-to-origin認証を有効にして、プライベートバケットへのアクセスを有効にする必要があります。
back-to-originプロトコル	<p>ここでは、オリジンサーバーのサポート状況に基づいて、Tencent Cloud CDNノードのback-to-origin時のリクエストプロトコルを選択できます。</p> <p>HTTP： ユーザーリクエストがHTTP/HTTPSアクセスの場合、HTTP back-to-originを使用します。</p> <p>HTTPS： ユーザーリクエストがHTTP/HTTPSアクセスの場合、HTTPS back-to-originを使用します (オリジンサーバーはHTTPSアクセスをサポートする必要があります)。</p> <p>Follow protocol： ユーザーリクエストがHTTPアクセスの場合、HTTP back-to-originを使用し、HTTPSアクセスにはHTTPS back-to-originを使用します (オリジンサーバーはHTTPSアクセスをサポートする必要があります)。</p>

設定項目	説明
back-to-origin Host	<p>back-to-originドメイン名です。CDNノードがback-to-originのときにアクセスした、オリジンサーバーのIPアドレスの下にある具体的なサイトドメイン名のことで。</p> <p>ユーザー保有オリジンサーバー： デフォルトは現在のアクセラレーションドメイン名です。汎用ドメイン名にアクセスする場合、デフォルトは汎用ドメイン名であり、実際のback-to-origin HOSTはアクセスドメイン名です。実際の業務状況に応じて、ご自身で変更することができます。</p> <p>COSソース： デフォルトはバケットアクセスアドレスです。これはソースサイトアドレスと一致しており、変更できません。</p> <p>サードパーティCOS： デフォルトはバケットアクセスアドレスです。これはオリジンサーバーと一致しており、変更できません。</p>

サービス設定（オプション）

Tencent Cloud CDNは、一般的に使用されるサービス設定を提供します。お客様は、個人的なニーズに応じて選択できます。現在、サービス設定を行う必要がない場合は、ドメイン名にアクセスしてからサービス設定を行うこともできます。

Service Configurations

Basic Configuration (Optional) Ignore query string Enable Range GETs

Cache Configuration (Optional)

Type	Content	Cache Behavior	Operation
All Files	All Files	Follow Origin Server	Modify Delete
File Type	php;jsp;asp;aspx	No Cache	Modify Delete
Add Rule			

Rules are executed from bottom to top. Rules at the bottom of the list have higher priority.

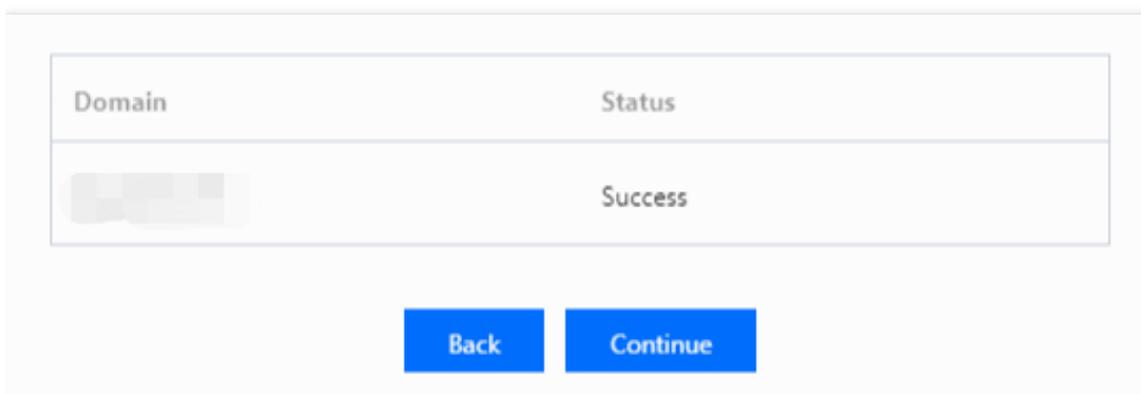
設定項目の詳細説明：

設定項目	説明
------	----

設定項目	説明
パラメータ無視	<p>ノードがリソースをキャッシュするには、Key-Valueマッピングに従います。ここでのKeyはリソースURLです。</p> <p>パラメータの無視を有効にすると、KeyはURLの「?」以降のパラメータを無視してマッピングします。</p> <p>パラメータの無視を有効にしないと、Keyは完全なリソースURLになります。</p> <p>静的アクセラレーションタイプは、デフォルトでは無効になっており、ダウンロードおよびストリーミングメディアVODアクセラレーションタイプは、デフォルトでは有効になっています。</p>
Back-to-Origin of Range	<p>back-to-origin時にパート化するかどうかを設定します。有効化するにはオリジンサーバーがパート化をサポートしている必要があります。</p> <p>オリジンサーバータイプがCOSオリジンサーバーである場合、またはサービスタイプがダウンロード、ストリーミングメディアVODアクセラレーションである場合、Back-to-Origin of Rangeがデフォルトで有効になっています</p>
キャッシュルール	<p>ノードキャッシュの有効期限の設定のことです。静的アクセラレーションタイプの場合、通常の動的ファイル（php、jsp、asp、aspxなど）はデフォルトでキャッシュされず、その他すべてのファイルはデフォルトで30日間キャッシュされます。ダウンロードやストリーミングメディアVODアクセラレーションの場合、すべてのファイルのキャッシュ有効期限はデフォルトで30日です。</p> <p>設定されたノードキャッシュの有効期限は最長有効期限であり、ノードのストレージリソースの影響を受けます。実際のキャッシュ時間は、状況に応じて決定されます。</p>

設定の完了

ドメイン名追加操作を完了した後、ドメイン名の設定をネットワーク全体のノードに配信するには約5～10分かかります。しばらくお待ちください。

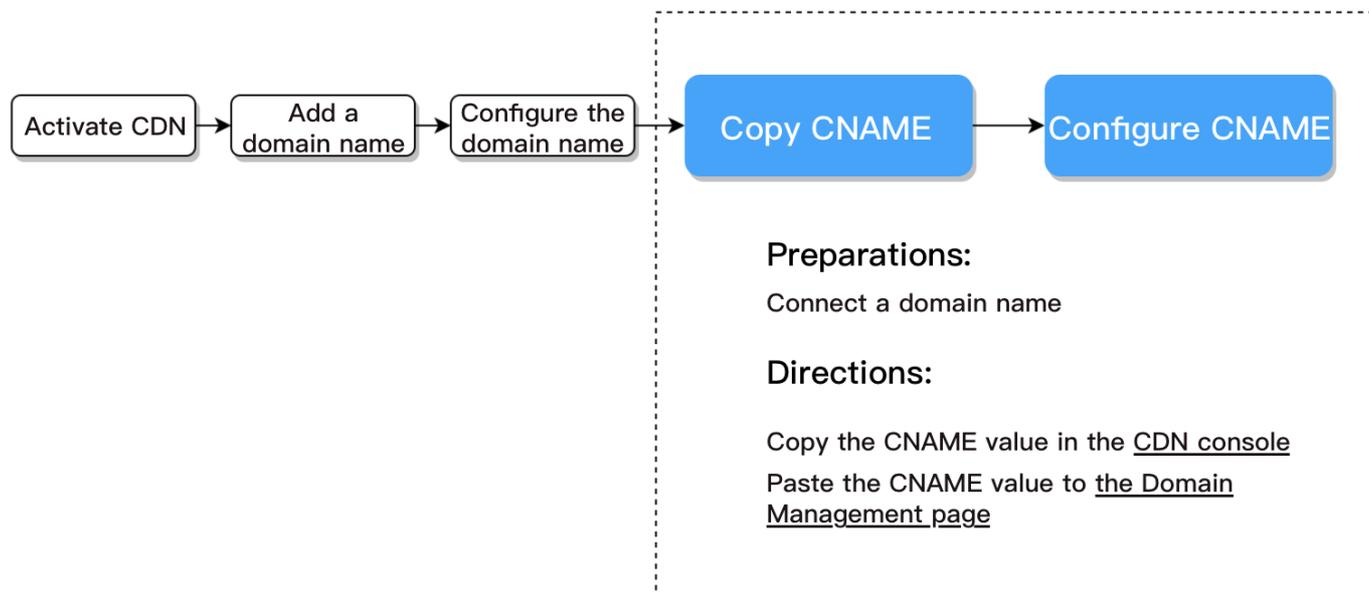


後続作業

アクセスが完了した後、Tencent Cloud CDNは対応するCNAMEアドレスをアサインします。CDNサービスを有効にするには、まずCNAMEを設定する必要があります。詳細については、[CNAMEの設定](#)をご参照ください。

CNAMEの設定

最終更新日：：2021-11-24 14:51:40



準備作業

ドメイン名へのアクセス

CNAMEを設定する前に、[ドメイン名へのアクセス](#)を完了する必要があります。ドメイン名へのアクセスをすでに完了している場合は、続いて次の操作手順に進んでください

操作手順

設定手順

DNSプロバイダによっては、ドメイン名が設定されているプロバイダにアクセスして設定する必要があります。ここでは、Tencent CloudとAlibaba Cloudを設定する手順についてご説明します。

- [Tencent Cloudでの構成手順](#)
- [Alibaba Cloudでの設定手順](#)

Tencent Cloudの設定方法

クイック設定

ドメイン名プロバイダがTencent Cloudの場合は、CNAMEクイック設定機能を使用することをお勧めします。詳細については、[DNSPodクイック設定CNAME](#)をご参照ください。

手動設定

1. CDNコンソールでCNAMEアドレスをコピーします。

ドメイン名の解決に成功する前に、CNAMEにプロンプトiconが表示されます。ここにCNAME値をコピーします。

2. DNS解決DNSPodコンソールにログインし、解決ボタンをクリックします。

3. CNAMEレコードを追加し、確認をクリックします。

4. 設定が有効になるのを待ちます。

設定項目の詳細説明：

設定項目	説明
ホストレコード	ホストレコードは、ドメイン名のプレフィックスに相当します。 例: <code>dnspod.com</code> ドメイン名の解決を追加するには、「ホストレコード」で「@」を選択し、 <code>www.dnspod.com</code> ドメイン名の解決を追加し、「ホストレコード」で「www」を選択します。
レコードタイプ	「CNAME」を選択します。
回線タイプ	「デフォルト」タイプを選択します。DNSPodは複数の方法で回線の区分をサポートして、指定ユーザーがこのレコードにアクセスできるようにします。詳細については、 解決回線の説明 をご参照ください。
レコード値	指定のドメイン名で、アクセラレーションドメイン名のCNAME値 <code>xxx.xxx.com.cdn.dnsv1.com</code> を入力します。レコードが生成されると、ドメイン名の後ろに「.」が自動的に追加されます。
重み	同一のホストレコードで同じ回線の場合、異なるレコード値に対して重みを設定できます。解決するときは、設定した重みの比率に基づいて返します。入力範囲：0～100
MX	優先度の設定です。値が小さいほど、優先度が高くなります。デフォルト値のブランクのままにすることをお勧めします。
TTL	キャッシュ時間です。数値が小さいほど、変更レコードの有効時間は速まります。デフォルトは600秒です。

Alibaba Cloud設定方法

DNSプロバイダがAlibaba Cloudの場合は、下記の手順でCNAMEレコードを追加できます。

1. Tencent Cloud CDNコンソールでCNAMEアドレスをコピーします

ドメイン名の解決に成功する前に、CNAMEにプロンプトiconが表示されます。ここにCNAME値をコピーします。

2. Alibaba Cloudコンソールのクラウド解決DNSにログインします。

3. 解析するドメイン名をクリックし、解析ログページに入ります。

4. 解決レコードページに入ってから、レコードの追加ボタンをクリックし、解決レコードの設定を始めます。

5. レコードタイプにCNAMEを選んでください。ホストレコードはドメイン名のプレフィックスで、任意に入力できます（例えばwww）。レコード値は手順1でコピーしたCNAME値として入力します。解決回線とTTLは、デフォルト値のままかまいません。

Add Record

Type:

Host:
 .cnwinshare.com ?

ISP Line:
 ?

* Value:

* TTL:

6. 入力後に**確定**をクリックすると、直ちに解決の設定が完了します。

後続の操作

CNAMEのアクティブ化状態を確認

DNSプロバイダが異なると、CNAMEが有効になるまでの時間もわずかに異なりますが、通常は30分以内に有効になります。nslookupまたはdigを使用してCNAMEが有効かどうかを確認することもできます。応答するCNAMEレコードが自分の設定したCNAMEである場合は、設定が成功しており、アクセラレーションサービスの起動に成功したことを示します。

- nslookup -qt=cname <アクセラレーションドメイン名>

```
[[root@VM-0-6-centos ~]# nslookup -qt=cname [redacted].com
*** Invalid option: qt=cname
Server:
Address: [redacted]

Non-authoritative answer:
[redacted].com canonical name = [redacted].cdn.dnsv1.com.
```

- dig <アクセラレーションドメイン名>

```
[[root@VM-0-6-centos ~]# dig [redacted].com

; <<>> DiG 9.11.26-RedHat-9.11.26-4.el8_4 <<>> [redacted]
;; global options: +cmd
;; Got answer:
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 38864
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 6, AUTHORITY: 0, ADDITIONAL: 1

;; OPT PSEUDOSECTION:
;; EDNS: version: 0, flags:; udp: 4096
;; QUESTION SECTION:
;[redacted].com. IN A

;; ANSWER SECTION:
[redacted].com. 600 IN CNAME [redacted].cdn.dnsv1.com.
[redacted].com.cdn.dnsv1.com. 600 IN CNAME [redacted].tdnsv5.com.
dqc18e8j.sched.vp.tdnsv5.com. 60 IN A 182.254.53.75
dqc18e8j.sched.vp.tdnsv5.com. 60 IN A 182.254.53.33
dqc18e8j.sched.vp.tdnsv5.com. 60 IN A 182.254.49.84
dqc18e8j.sched.vp.tdnsv5.com. 60 IN A 182.254.53.94

;; Query time: 57 msec
;; SERVER: 183.60.83.19#53(183.60.83.19)
;; WHEN: 六 9月 18 16:42:46 CST 2021
;; MSG SIZE rcvd: 197
```

設定ガイド

CDNサービスの基本設定が完了しました。CDNサービスの詳細な設定については、[設定ガイド](#)ディレクトリの対応する項目をご参照ください。

ドメイン名所有権の検証

最終更新日：2023-03-10 16:06:37

どのようなタイミングでドメイン名の所有権を検証しますか？

- ドメイン名を初めて追加した際（例：a.example.com）に、そのドメイン名を追加した後、同じレベルのドメイン名（例：b.example.com）とサブドメイン名が検証済みのドメイン名と見なされ、デフォルトでは検証なしで追加できます。ただし、example.com のような上位ドメイン名の追加には検証が必要です。
- 別のアカウントでサブドメイン名にアクセスする場合、現在のドメイン名の所有権を確認するためにドメイン名の所有権を検証する必要があります。検証に合格した場合、ドメイン名を取得することで現在のアカウントでアクセスできます。
- 同じレベルのワイルドカード形式のドメイン名を追加する場合、検証が必要です。例えば、a.example.com を追加済みの場合でも、*.example.com の追加に検証が必要となります。*.a.example.com が下位のワイルドカード形式のドメイン名のため、検証なしで追加できます。

方法1：DNS名前解決による検証（推奨）

- ドメイン名を追加する場合、追加するドメイン名を検証する必要がある場合は、そのドメイン名の下にドメイン名の所有権を検証する必要がある旨のメッセージが表示されます。**検証方法**をクリックしてください。

The screenshot shows the 'Domain Configuration' section of a Tencent Cloud console. It includes radio buttons for 'Region' (Chinese Mainland, Overseas, Global) and an 'Acceleration domain name' input field. A red box highlights the input field containing 'www1.example.com' and a red warning icon. Below the input field, a message reads 'Please verify the domain name ownership first.' and a blue box highlights the 'Verification Method' link. An 'Add' button is visible at the bottom.

- 検証方法は、デフォルトではDNS名前解決による検証です。
DNS名前解決による検証を選択した場合、そのドメイン名の名前解決プロバイダーのプライマリドメイン名に、ホストのレコード値が `_cdnauth` のTXTレコードを追加してください。

！追加するドメイン名が `c.b.a.example.com`、`*.example.com` あるいは `test.example.com` であっても、マルチレベルドメイン名配下のホストのレコード値をプライマリドメイン名に追加してください。例えば、ドメイン名 `c.b.a.example.com` を追加する場合、名前解決レコード `_cdnauth.example.com` を追加します。

Domain Configuration

Region Chinese Mainland Overseas Global

Acceleration domain name 

Please verify the domain name ownership first. [Verification Method](#)

DNS verification File verification

1. Please go to your domain name provider to configure the following resolution record for this domain name. [How to add a resolution record](#)

Host Record	Record ...	Record Value
<code>_cdnauth</code> 	TXT	<code>20220902155629d4affd6c60309686615834bf67b30ba6</code> 

2. Wait for the TXT parsing to take effect, which usually takes about 1 minute. If it does not take effect for a long time, please contact the domain name resolution service provider for confirmation.

3. Click the "Verify" button below to start.

Tencent Cloud DNS解決の追加方法の参考情報：

解決サービスプロバイダがTencent Cloud DNSPodを使用している場合は、[DNS 解決 DNSPod コンソール](#)に移動し、ドメイン名を見つけて[解決]をクリックし、レコードタイプがTXTのDNSレコードを追加します。ホストレコードに `_cdnauth` を入力し、レコードタイプとしてTXTを選択し、レコード値にTencent Cloud CDN によって提供されたレコード値を入力し、その他のパラメータはデフォルト値を保持します。

Alibaba Cloud DNS解決の追加方法の参考情報：

解決サービスプロバイダがAlibaba Cloudを使用している場合は、Alibaba Cloudのドメイン名解決コンソールで当該ドメイン名を見つけ、右側の解決設定をクリックします。レコードタイプとしてTXTを選択し、Tencent Cloud CDN によって提供されたホストレコードとレコード値を入力し、その他のパラメータはデフォルト値を保持します。

3. 名前解決レコードを追加した後、TXTレコード値が反映されるまで待ちます。反映されると、下側の検証ボタンをクリックし、ドメイン名の所有権の検証を完了します。検証に失敗した場合、現在のTXTレコード値がドメイン名の名前解決プロバイダー側で有効になっているか、または、入力したTXTレコード値が正しいかを確認してください。[TXTレコードが有効になっているかどうかを確認する方法は？](#)
4. ドメイン名の所有権の検証を完了した後、現在のドメイン名がすでに別のアカウントに追加されており、現在のアカウントに切り替えて追加する必要がある場合は、[取得]ボタンをクリックしてドメイン名を取得する必要があります。ドメイン名が取得された後、元のアカウントのドメイン名構成が消去されることに注意してください。

方法2：ファイルによる検証

1. ドメイン名を追加する場合、追加するドメイン名を検証する必要がある場合は、そのドメイン名の下にドメイン名の所有権を検証する必要がある旨のメッセージが表示されます。[検証方法](#)をクリックしてください。

Domain Configuration

Region Chinese Mainland Overseas Global

Acceleration domain name 

Please verify the domain name ownership first. [Verification Method](#)

2. 検証方法でファイルによる検証を選択します。

Domain Configuration

Region Chinese Mainland Overseas Global

Acceleration domain name !

Please verify the domain name ownership first. [Verification Method](#)

DNS verification **File verification**

1. Download the file to verify [verification.html](#)
2. Upload the file to the root directory of `subdomain.example.com`
3. Make sure that the file is accessible via `http://subdomain.example.com/verification.html` or `http://subdomain.example.com/verification.html`
4. Click "Verify" below to start verification

Verification failed

3. クリックしてファイル `verification.html` をダウンロードします。

4. このファイルをお客様のプライマリドメイン名のサーバー（たとえば、CVM、COS、Alibaba Cloud ECS、Alibaba Cloud OSS など）のルートディレクトリにアップロードします。たとえば、ドメイン名 `test.example.com` を追加する場合、このファイルを `example.com` または `test.example.com` のルートディレクトリにアップロードする必要があります。

注意：

ファイルによる検証は、サブドメイン名にファイルをアップロードして検証することをすでにサポートしていますが、DNS 検証は現在サポートされていません。サブドメイン名を通じてドメイン名の所有権を検証する必要がある場合は、ファイルによる検証を使用してください。

5. `http://example.com/verification.html` または `http://test.example.com/verification.html` 経由でこのファイルにアクセスできることを確認した後、検証ボタンをクリックして検証を行います。ファイルにあるレコード値が提供されたレコード値と一致すれば、検証に成功します。検証に失敗した場合、前述したリンクにアクセスできること、および正しいファイルをアップロードしたことを確認してください。ファイルのリンクにアクセスし、ダウンロードしたファイルと一致するかを比較することで確認できます。

注意：

ファイルによる検証は現在、ドメイン名の取得をサポートしていません。ドメイン名を取得する必要がある場合は、DNS解決の検証方法を使用してドメイン名を取得してください。

具体的なシナリオの操作例：

アクセラレーションの対象ドメイン名が `a.test.com` 、オリジンサーバーがCloud Object Storage(COS)の場合：

1. 生成された検証ファイル`verification.html`をCloud Object Storage (COS)のルートディレクトリにアップロードします。
2. アクセラレーションドメイン名の解決サイトにCNAMEレコードを1件追加し、さらにそれをCOSオリジンサーバーのドメイン名にポイントします。
3. 上記の操作が完了したら、`http(https)://アクセラレーションドメイン名/verification.html`から検証ファイルにアクセスできることを確認します。**検証**ボタンをクリックすると、検証に成功できます。

方法3：APIインターフェース操作

1. まず、`CreateVerifyRecord`インターフェースを呼び出して、追加対象のドメイン名のTXT解決レコードを生成します。

```
{
  "Response":{
    "Record": "202009071516044acd018wf498457628cn75ba018ec9cv",
    "RecordType": "TXT"
    "RequestId": "8518c99c-a8eb-4930-a7d0-eff586d9cc37",
    "SubDomain": "_cdnauth",
  }
}
```

2. ドメイン名解決サイト（DNSPODなど）でこのTXT解決レコードを構成します。
3. `VerifyDomainRecord`インターフェースを呼び出して、解決が有効になっているかどうかを確認します。

```
{
  "Response":{
    "RequestId": "b6926bb2-d0b5-42bc-b17f-e4402bdb9e9b",
    "Result": "true"
  }
}
```

4. 検証が成功したら、[AddCdnDomain](#) インターフェースを呼び出してドメイン名を追加できます。

よくあるご質問

どのように手動でドメイン名の所有権の検証に使用されるTXTレコード値が有効になっているかを確認しますか？

Windows OSの場合：

たとえば、追加するドメイン名が `test.example.com` の場合、cmd コマンドラインを起動し、`nslookup -qt=txt _cdnauth.example.com` を入力して実行します。出力されたTXTの結果で、名前解決レコードが有効になっているか、または正しいかを確認できます。

```
>nslookup -qt=txt _cdnauth.
gm-taidi.tencent.com
Address: 10.11.56.23
cdnauth. text =
"20220606163634a806e0a3c6f73b7db98f007b60a67fb3"
```

Linux/Mac OSの場合：

たとえば、追加するドメイン名が `test.example.com` の場合、コマンドラインインターフェースで `dig _cdnauth.example.com txt` を入力します。出力されたTXTの結果で、名前解決レコードが有効になっているか、または正しいかを確認できます。

```
[tiacsh-@ ~]$ dig _cdnauth.
; <<>> DiG 9.10.6 <<>> _
;; global options: +cmd
;; Got answer:
;; ->>HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 26083
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 1, AUTHORITY: 0, ADDITIONAL: 0

;; QUESTION SECTION:
;_cdnauth. IN TXT

;; ANSWER SECTION:
cdnauth. 600 IN TXT "20220606163634a806e0a3c6f73b7db98f007b60a67fb3"

;; Query time: 55 msec
;; SERVER: 127.0.0.1#53(127.0.0.1)
;; WHEN: Mon Jun 06 16:58:45 CST 2022
;; MSG SIZE rcvd: 119
```

VODドメイン名を追加できない旨のメッセージが出力された場合、どうすればよいですか？

ご利用中のドメイン名がすでにVODのカスタムデリバリーアクセラレーションドメイン名に追加されています。同じアクセラレーションドメイン名を繰り返して設定できないため、CDNコンソールにもこのアクセラレーションドメイン名を追加する必要があります。まず、VODからアクセラレーションドメイン名を削除します（ドメイン名を禁止してから削除してください。これは禁止だけにすると問題が依然として発生するためです）。削除して約1分後に、CDNコンソールにアクセスするか、異なるサブドメイン名でCDNコンソールにアクセスしてください。

ドメイン名アクセスに関するよくあるご質問

最終更新日：2023-03-10 14:55:51

ドメイン名を追加する方法は？

CDNのコンソールでドメイン名を追加できます。詳細については、[ドメイン名のアクセス](#)をご参照ください。

ドメイン名をCDNに追加するための要件は何ですか？

- アクセラレーションドメイン名の長さは81文字以下としてください。
- アクセラレーションリージョンが中国本土、グローバルアクセラレーションの場合、ドメイン名はすでに工業情報化部でICP申告を行っている必要があります。アクセラレーションリージョンが中国本土以外であれば、ドメイン名のICP申告を行う必要はありません。
- ドメイン名のICP申告同期には遅延が発生します。1～2時間かかる見込みです。ICP申告完了後、1～2時間待ってから、ドメイン名の追加を再試行してください。
- アンダーバー付きのドメイン名、またはpunycodeに変換された中国語ドメイン名の追加をサポートします。中国語のドメイン名は、あらかじめ中国語の形式でICP申告を行う必要があります。
- `*.example.com`、`*.a.example.com` などのワイルドカード形式のドメイン名の追加がサポートされます。ワイルドカード形式のドメイン名を追加した後、そのサブドメイン名または第2レベルのワイルドカード形式のドメイン名をその他のアカウントに追加することはできません。例：追加されたワイルドカード形式のドメイン名が `*.example.com` である場合、ユーザーがアクセスするドメイン名 `a.example.com` はこのワイルドカード形式のドメイン名とマッチングするため、ワイルドカード形式のドメイン名構成に従ってアクセラレーションが適用されます。ユーザーがアクセスするドメイン名 `example.com` がワイルドカード形式のドメイン名とマッチングしないため、アクセラレーション効果はありません。
- 同じアカウントでは、複数のネストされたドメイン名を追加できます。例えば、`*.example.com`、`*.path.example.com`、`a.path.example.com` は、同じアカウントで同時に追加できます。ドメイン名の設定、アクセストラフィックの統計は優先度別に統計できます。一致性が高いほど、優先度が高くなります。たとえば、`a.path.example.com` へのアクセスは、`a.path.example.com` のドメイン名構成が適用されます。`b.path.example.com` へのアクセスは、`*.path.example.com` のドメイン名構成が適用されます。`c.example.com` へのアクセスは、`*.example.com` の構成が適用されます。アクセストラフィックの統計は同様です。
- 追加する必要のあるワイルドカード形式のドメイン名に含まれるサブドメイン名が、すでにその他のアカウントに追加されている場合、現在のアカウントに追加する前に、対応するアカウントで対応するサブドメイン名を削除する必要があります。例：Aアカウントにドメイン名 `a.example.com` が追加されており、Bアカウントに `*.example.com` を追加する必要がある場合は、`*.example.com` にサブドメイン名 `a.example.com` が含まれているため、Bアカウントに `*.example.com` を追加する前に、Aアカウントで `a.example.com` を削除する必要があります。

CDNはワイルドカード形式のドメイン名の追加をサポートしますか？

CDNは現在、ワイルドカード形式のドメイン名の追加をサポートしていますが、ドメイン名所有権の確認を行う必要があります。確認に成功した後、ドメイン名を追加またはドメイン名を取得することができます。

その他：

1. ワイルドカード形式のドメイン名（例：`*.test.com`）がTencent Cloudにすでに追加されている場合、そのワイルドカード形式のドメイン名に含まれるサブドメイン名はいずれも、他のアカウントに追加できません。
2. ワイルドカード形式のドメイン名 `*.test.com` がすでに追加されている場合、現在のアカウントにおいてのみ、`*.path.test.com` などのワイルドカード形式のドメイン名を追加できます。
3. アカウントの下に同時に複数のネストされたドメイン名がある場合（`*.test.com`、`*.path.test.com`、`a.path.test.com`）、ドメイン名の構成と統計は、一致性の高いものから低いもの順に適用されます。たとえば、`a.path.test.com` リクエストは `a.path.test.com` ドメイン名のリクエストとして扱われ、`b.path.test.com` リクエストは `*.path.test.com` ドメイン名のリクエストとして扱われます。

VODドメイン名を追加できない旨のメッセージが出力された場合、どうすればよいですか？

ご利用中のドメイン名がすでにVODのカスタムデリバリーアクセラレーションドメイン名に追加されています。同じアクセラレーションドメイン名を繰り返して設定できないため、CDNコンソールでもこのアクセラレーションドメイン名を使用する必要がある場合は、先にVODからアクセラレーションドメイン名を削除してください（非アクティブ化のみを行っても競合が発生するため、ドメイン名を無効化してから削除してください）。削除して約1分間待ってから、CDNコンソールに追加します。または、異なるサブドメイン名でCDNコンソールに追加することもできます。

CDNの構成にはどれくらい時間がかかりますか？

通常、CDNの構成は5分以内に有効になります。一部の構成は、実行するタスク数が多いため、有効になるまで5～15分かかります。構成が完了するまでしばらくお待ちください。

###オリジンサーバーIPは複数設定できますか？

複数のオリジンサーバーIPを設定できます。複数のIPを設定している場合、CDNはBack-to-Originリクエストを受信したときに、入力したIPの任意1つにランダムにアクセスします。あるIPのBack-to-Origin失敗回数がしきい値を超えた場合、デフォルトで当該IPは300秒間隔離され、オリジンサーバーにBack-to-Originしなくなります。

###ドメイン名がCDNに追加された後、CNAMEをバインディングするにはどうすればよいですか？

[CNAMEの設定](#)ドキュメントに記載されている操作説明を参照し、DNSプロバイダーでCNAMEをバインディングしてください。

CDNがサポートしているサービスタイプはどのようなものがあるでしょうか？

サービスタイプの選択によって、ドメイン名のスケジューリングのためのリソースプラットフォームが決まります。リソースプラットフォームによってアクセラレーション構成に違いがあります。お客様のビジネスにマッチしたサービスタイプを選択してください。

- 小容量Webページファイル：eコマース、ウェブサイト、UGCコミュニティなど、小容量の静的リソース（たとえば、ホームページのスタイル、画像および小容量ファイル）を主とするサービスシーンに適しています。
- 大容量ファイルのダウンロード：ゲームのインストールパッケージ、アプリケーションの更新、アプリケーションパッケージのダウンロードなど、比較的ファイル容量が大きいサービスシーンに適しています。
- オーディオ/ビデオ・オン・デマンド：オーディオとビデオのオンライン・オンデマンドなど、オーディオ/ビデオファイルのオンデマンドアクセラレーションサービスシーンに適しています。
- 動的・静的アクセラレーション：各種Webサイトのトップページなど、動的・静的データが組み合わさったサービスシーンに適しています。
- 動的アクセラレーション：アカウントのログイン、注文取引、APIの呼び出し、リアルタイム照会などのシーンに適しています。

CDNアクセラレーション後、リソースが古い、コンテンツが更新されていない、またはコンテンツが間違っているなどの例外が発生します。

CDNノードは、[ノードのキャッシュの有効期限設定](#)に従ってリソースをキャッシュします。CDNノードのキャッシュが有効期限内であれば、オリジンサーバーに戻ってリソースを更新することはありません。

オリジンサーバーのリソースを更新した直後に、CDNノードのキャッシュを直ちに更新する必要がある場合、[キャッシュを更新機能](#)を使用し、CDNノードで未期限切れのキャッシュを自主的に更新することで、CDNノードのキャッシュをオリジンサーバーのリソースと一致させることができます。

CDNドメイン名の所属プロジェクトを変更するにはどうすればよいですか？

[CDNコンソール](#)にログインし、左側メニューバーの【ドメイン名管理】を選択して、ドメイン名または操作バーの【管理】をクリックします。Tabの【基本設定】ページで、所属プロジェクトを変更できます。複数のドメイン名の所属プロジェクトを変更する場合は、【ドメイン名管理】ページで複数のドメイン名を選択し、上の【その他の操作】で【プロジェクトの編集】を選択することで、複数のドメイン名の所属プロジェクトを同時に変更できます（1回につき最大50件のドメイン名を選択可能）。

注意：

CDNの権限システムを使用しているユーザーの場合は、この操作によりサブユーザーの権限が変更される可能性がありますので、注意して操作してください。

ドメイン名を工業情報化部にてICP申告を行っているにもかかわらず、CDNアクセラレーションドメイン名に追加するとドメイン名がICP未申告と表示されます。なぜですか？

ICP申告完了後、通常、工業情報化部の情報が同期され、Tencent Cloud CDNでICP申告情報が更新されるまでには、ある程度の時間を要します。24時間待ってから再試行してください。

アクセラレーションドメイン名/オリジンサーバーではポート設定をサポートしていますか？

- アクセラレーションドメイン名ポート：現在CDNアクセラレーションのポートは、デフォルトで80、443、8080の3つをサポートしています。その他のポートは現在サポートしていません。
- オリジンサーバーポート：オリジンサーバーアドレスの後のポート設定に対応しています。ポート（1-65535）を設定可能です。

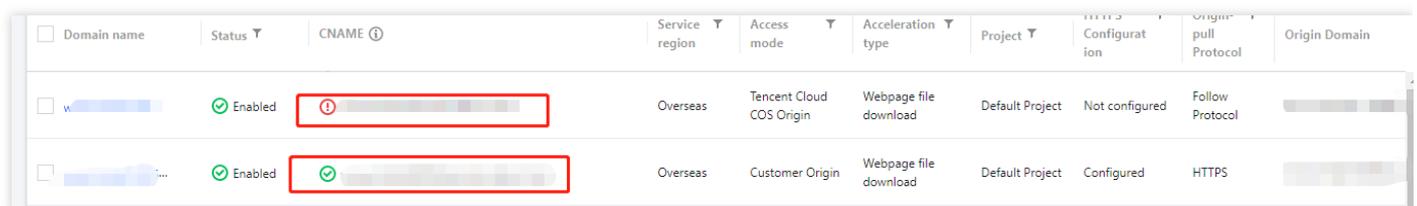
CDN Back-to-Origin HOST設定とは何ですか？

Back-to-Origin HOSTは、CDNノードがBack-to-Originの処理中に統合され、オリジンサーバーでアクセスするサイトのドメイン名を指します。オリジンサーバーで設定したIP/ドメイン名は、Back-to-Originの際にCDNノードを対応するオリジンサーバーにポイントするように指示することができます。オリジンサーバーに複数のWebサイトをデプロイしている場合、Back-to-Origin HOSTの設定により、特定のサイトドメインにアクセスするように指定することができます。オリジンサーバーにサイトが1つしかない場合、デフォルトではBack-to-Origin HOSTを変更する必要がなく、サイトをアクセラレーションドメインとして設定するだけです。

オリジンサーバーがCOSソースまたはサードパーティーのオブジェクトストレージである場合、Back-to-Origin HOSTは変更できず、デフォルトでBack-to-Originアドレスとなります。

CDNが有効になっているかどうかをどのように判断しますか？

1. コンソールのドメイン名管理リストで確認できます。ドメイン名のCNAME解決が正しく行われていれば、現在CDNドメイン名のアクセラレーションが有効になっていることを意味します。CNAME解決が2つ存在する場合は、そのうちの1つだけが有効になっていれば十分です。



Domain name	Status	CNAME	Service region	Access mode	Acceleration type	Project	Configuration	Origin pull Protocol	Origin Domain
www.test.com	Enabled	www.test.com	Overseas	Tencent Cloud COS Origin	Webpage file download	Default Project	Not configured	Follow Protocol	www.test.com
www.test.com	Enabled	www.test.com	Overseas	Customer Origin	Webpage file download	Default Project	Configured	HTTPS	www.test.com

2. nslookupまたはdigコマンドを使用して、現在ドメイン名の解決ステータスを確認することもできます。

- Windows OSをご利用の場合、cmdを開いてプログラムを実行します。たとえばドメイン名が `www.test.com` の場合、cmdで `nslookup -qt=cname www.test.com` を実行します。実行結果では、当該ドメイン名のCNAME情報が表示されます。Tencent Cloud CDNによって提供されたCNAMEアドレ

スと一致する場合、現在CDNアクセラレーションが有効になっていることを意味します。

```
[[root@VM-0-6-centos ~]# nslookup -qt-cname ██████████.com
*** Invalid option: qt-cname
Server: ██████████
Address: ██████████

Non-authoritative answer:
██████████.com canonical name = ██████████.cdn.dnsv1.com.
```

- macOSまたはlinuxをご利用の場合、digコマンドを使用して確認できます。たとえばドメイン名が `www.test.com` の場合、端末で `dig www.test.com` コマンドを実行します。実行結果では、当該ドメイン名のCNAME情報が表示されます。Tencent Cloud CDNによって提供されたCNAMEアドレスと一致する場合、現在CDNアクセラレーションが有効になっていることを意味します。

```
t ██████████ dig ██████████

; <<>> DiG 9.10.6 <<>> ██████████
;; global options: +cmd
;; Got answer:
;; ->HEADER<<- opcode: QUERY, status: NOERROR, id: 51159
;; flags: qr rd ra; QUERY: 1, ANSWER: 5, AUTHORITY: 0, ADDITIONAL: 0

;; QUESTION SECTION:
; ██████████. ██████████ IN A

;; ANSWER SECTION:
██████████. 600 IN CNAME ██████████.dn.dnsv1.com.cn.
██████████. 600 IN CNAME ██████████.tdnsv5.com.
██████████.tdnsv5.com. 60 IN A 119.188.85.108
██████████.tdnsv5.com. 60 IN A 119.188.85.90
██████████.tdnsv5.com. 60 IN A 119.188.85.79
```

CDNファイルをダウンロードできません

ファイルをダウンロードできない場合は、次のいくつかの方法で解決することを推奨します：

1. オリジンサーバーが正常にダウンロードできるかを確認します。
2. CDNドメイン名が正しく設定されているかを確認します。CDNコンソール > 基本設定 > Back-to-Origin Hostの順に確認し、設定したBack-to-Origin Hostドメイン名がアクセスできる状態になっていることを確認してください。そうならない場合、Back-to-Originが失敗し、お客様のサービスに影響します。
3. オリジンサーバーのセキュリティポリシーを確認します。オリジンサーバーで構成されているセキュリティポリシーが、Back-to-Originの失敗を引き起こした原因であるかを確認します。そうである場合、CDN Back-to-Origin IPネットワークセグメントを取得した後、オリジンサーバーでホワイトリストに追加します。

wordpressでCDNのアクセラレーションを設定した後、バックグラウンドでログインできません。

WordPressはログイン（バックグラウンドでディレクトリ/wp-adminにログイン）、インターフェースなどの動的リクエストを伴います。キャッシュ設定が適切に行われていない場合、ログイン異常が発生します。対応する動的ファイルタイプのキャッシュ時間を「キャッシュなし」に設定することをお勧めします。

オリジンサーバーの構成中に、Back-to-Originプロトコルが正しくないか、ポート番号が正しくないというメッセージが表示されます。

Tencent Cloud CDNのオリジンサーバーの構成では、ポート番号のカスタムをサポートします。Back-to-OriginプロトコルとしてHTTPが選択されている場合、デフォルトのBack-to-Originポートはポート80です。Back-to-OriginプロトコルとしてHTTPSが選択されている場合、デフォルトのBack-to-Originポートはポート443です。カスタムポートを設定している場合、Back-to-Originポートとしてカスタムポートが使用されます。そのため、Back-to-Originが確実に行われるようにするには、オリジンサーバーの構成中に正しいBack-to-Originプロトコルとポート番号を使用する必要があります。よくある構成エラーは次のとおりです：

1. Back-to-OriginプロトコルとしてHTTPが選択されていますが、オリジンサーバーではHTTPSしかサポートしていないため、Back-to-Originに失敗します。
2. Back-to-OriginプロトコルとしてHTTPが選択され、カスタムポートが443になっています。しかし、実際にはオリジンサーバーのBack-to-OriginプロトコルがHTTPSであり、Back-to-OriginプロトコルをHTTPSに変更する必要があります。
3. Back-to-OriginプロトコルとしてHTTPが選択され、カスタムポート番号が8080に変更されています。しかし、実際にオリジンサーバーではポート8080が遮断されています。ポートが通信できない状態のため、Back-to-Originに失敗します。

Back-to-Originプロトコルが正しく選択されているにもかかわらず、ポート80または443が通信できないというメッセージが表示された場合、ソースが正しいポート番号で返されるようにBack-to-Originポートをカスタマイズしてください。オリジンサーバーの情報を入力すると、プラットフォームではオリジンサーバーのポートが通信可能かどうかを自動的に検知します。お客様はプロンプトに従って、現在のBack-to-Originプロトコルまたはポート番号が正しいかどうかを確認することができます。これにより、正常な通信を確保し、Back-to-Origin失敗を回避することができます。

CDNはtopドメイン名をサポートしていませんか？

現在CDNは、.pwおよび.topドメイン名の追加をすでにサポートしています。

Tencent Cloud CDNは中国語のドメイン名をサポートしていますか？

現在CDNは、アンダーバー付きのドメイン名、およびpunycodeに変換された中国語ドメイン名の追加をすべてサポートしています。

- 中国語ドメイン名は、まず中国語の形式でICP申告を行う必要があります。
- 「中文.域名」などの中国語ドメイン名はホワイトリストに追加された後、サードパーティ製ツールを使用して、「xn--fiq228c.xn--eqrt2g」に変換して追加できます。

- 「test_qq.tencent.cloud」などのアンダーバー付きドメイン名は、直接追加できます。

CDN管理で追加されたドメイン名をオフにすると、CDNノード上のファイルはどうなりますか？

現在CDNに追加されているドメイン名のアクセラレーションサービスをオフにすると、CDNノードはドメイン名に対応するアクセス構成を保持しますが、CDNトラフィックは発生しなくなります。同時に当該ドメイン名にもアクセスできなくなります。

新しく追加されたドメイン名について、「サブアカウントでcamポリシーが構成されていません」というエラーが表示されます

サブアカウントでドメイン名の追加やデータの照会などの操作を実行する際に、ルートアカウントがサブアカウントに対して承認を行っていない場合、「サブアカウントでcamポリシーが構成されていません」というメッセージが表示されます。ルートアカウントは、[Cloud Access Management-ポリシー](#)でCDN関連のサービスポリシーを作成し、サブアカウントを承認できます。承認後、[Cloud Access Management-ユーザー-ユーザーリスト](#)でサブアカウントの権限を表示できます。

アクセラレーションドメイン名をオフにする/削除する方法とは何ですか？ドメイン名をオフにした/削除した後、その構成は保持されますか？

アクセラレーションをオフにする必要がある場合は、CDNコンソールでアクセラレーションサービスをオフにすることができます。アクセラレーションドメイン名をオフにした後、削除することができます。詳細については、[ドメイン名の操作](#)をご参照ください。アクセラレーションドメイン名をオフにした後に削除できない場合、ドメイン名が現在オフ処理を実行しているか、お客様は現在協力者アカウントを利用している可能性があります。協力者アカウントの操作権限は、CDNサービスの作成者のルートアカウントによって作成され設定されます。操作を実行するには、当該ドメイン名に対する削除権限が付与されている必要があります。

ドメイン名をオフにすると、現在の構成リソースは保持されますが、アクセラレーションサービスは提供されなくなります。ユーザーのリクエストに対しては404のエラーコードが返されます。ドメイン名を削除すると、その構成は直ちに削除され、復元できなくなります。

example.com、www.example.com、m.example.comに対して同時にCDNアクセラレーション効果を適用するにはどうすればいいですか？

1. `example.com`、`www.example.com`、`m.example.com` が異なるドメイン名に属しているため、CDNアクセラレーション効果を適用するには、それぞれをCDNに追加する必要があります。ドメイン名の構成が同じ場合は、ドメイン名を一括追加するか、ドメイン名の構成をコピーして追加することができます。
2. ドメイン名が同じリソースにアクセスする場合（たとえば、`example.com` と `www.example.com` が同じリソースにアクセスする場合）、ドメイン名解決サービスプロバイダ経由で、内部転送、または外部転送による301リダイレクトを設定することで、すでにCDNアクセラレーションが適用されているドメイン名にポイントできます。詳細については、[内部転送](#)、[外部転送の履歴設定](#)をご参照ください。

CDNはwebsocket接続をサポートしますか？

ECDN動的・静的アクセラレーションまたはECDN動的アクセラレーションを使用することをお勧めします。高度な構成でwebsocket接続のタイムアウト構成を有効にすることができます。許容される最大値は300秒です。アクセラレーションの種類がCDN小容量Webページファイル、CDN大容量ファイルのダウンロード、CDNオーディオ/ビデオ・オン・デマンドの場合、websocket接続を使用すると、接続が切断したり、失敗したりする可能性があります。